

メールマガジン「水土里」とは？

静岡県内の基盤整備や施設点検の状況、農業農村整備に関する研修会等に関する情報をお知らせしています。



Webページはこちら↑

工事後の土地評価作業を行いました (伊豆市大平地区)

東部



平成30年9月9日、伊豆市においてほ場整備事業（大平地区）の換地業務に係る工事後の土地評価作業を行いました。

※工事後の土地評価：現地踏査により、工事後の土地条件を調査し評価を行い、換地評価表の作成や整理を行うこと。

現地踏査は3班に分かれそれぞれ評価を行った後、評価状況に格差が生じていないかすり合わせ作業を行いました。当日は残暑が厳しく、踏査にかかる時間によっては地元の方にも負担が重いかと思いましたが、効率よく作業が進められました。

当該地区は、昭和60年にほ場整備を実施していますので、大きな区画の変更や大掛かりな工事を実施していないこともあり、工事前と工事後で大きな評価の差はありませんでしたが、地元の方は熱心に議論を交わしていました。

東部農林事務所では、来年度の換地処分に向け、県土連と連携しながら地元の方とともに作業を進めていきます。

東部農林事務所用地管理課 055-920-2163

東富士ダムで送水停止式を行いました

東部

平成30年9月14日、東富士ダムにおいて、県、市、改良区及び地元関係者約25名の立会のもと、昭和42年1月21日に締結された「東富士ダム建設に伴う協定書」に基づき、送水停止式を行いました。

東富士ダムは、御殿場市・裾野市の水田へ用水を供給する目的で建設された貯水容量120万 m^3 の農業用ダムです。

毎年4月から8月末まで、農業用水を2市の水田へ送水していますが、今年度は送水期間を少し延長し、9月中旬まで行いました。

式の中で、東富士ダムから用水の供給を受けている農家の方々から、「関係者の皆様のご配慮により送水期間を延長していただき、例年同様に稔り豊かな秋を迎えられた」という感謝の言葉がありました。

黄金色に輝く田園風景は間もなく見納めとなります。

東部農林事務所御殿場支所 0550-82-1611



伊豆市小土肥で用水路改修の地元説明会を行いました

東部



平成30年9月19日、伊豆市小土肥（おどい）において、農業用水路の改修の地元説明会を行いました。

小土肥では、中山間総合整備事業みらい伊豆地区で出口用水路の更新が予定されており、現在は工事予定箇所の測量と設計を行っています。

説明会には県職員以外に伊豆市職員、受注者、地元の関係者20名程が集まりました。更新後の水路の構造や施工方法について協議した後、用水路の現状を確認しながら工事の要望等について聞き取りを行いました。

地元からは、

- ・下流側の水田は十分な水がこないことがある
 - ・上流側の水田は水路から水が溢れて困る
 - ・水路にゴミが詰まって苦労している
- 等の問題点が挙げられました。

今後、現地で水の溢れやすい場所や補修が必要な場所を確認し、現在の問題を改善できるよう設計を行います。

東部農林事務所農地整備課 055-920-2175

台風21号通過後、土地改良施設のパトロールを行いました

富士

平成30年9月5日、富士農林事務所は、台風21号の接近により降雨や波浪の影響が懸念される施設について、パトロールを行いました。

昭和放水路付近の観測所では、前日4日午後5時頃から8時頃にかけて、高さ5m前後の波浪及び風速15m/sを超える強風を観測しましたが、台風21号による昭和放水路施設への目立った被害はありませんでした。

他の施設についても被害はなく、県有土地改良財産である防災調節池等の機能が発揮されたことが確認されました。

今後も、富士農林事務所では、土地改良施設機能の適切な機能発揮に努めていきます。

写真：江尾江川上流調節池（9月5日午前10時30分頃）



富士農林事務所農地整備課 0545-65-2359

平成30年度経営体育成基盤整備事業飛鳥地区 農道1工事地元説明会を開催しました

中遠



掛川市飛鳥公会堂において、平成30年度経営体育成基盤整備事業飛鳥地区農道1工事の説明会を開催しました。

説明会には工事に関係する地域の地権者23名が参加し、工事への関心の高さを伺い知ることができました。

本事業で行う工事は、農道の拡幅工事と排水路の整備です。来年2月までの期間中、安全第一に工事を実施し、地権者の皆様が満足できるものに仕上げることを誓い、工事に対する理解と協力をお願いしました。

中遠農林事務所では、今後も管内の農業をより活発なものとするため、地域の基盤整備を積極的に進めていきます。

中遠農林事務所農地整備課 0538-37-2311

中国浙江省国土資源庁日本視察研修団が都田川 ダムを視察

西部

平成30年9月18日に、中国浙江省国土資源庁日本視察研修団の一行18名と日中協会職員1名が、日本における農業農村整備事業の取組を研修する一環として、浜松市の都田川ダムを訪れました。

都田川ダムは、洪水防止、みかん園などの畑地かんがい用水、水道用水の水源確保を目的とし、昭和61年度に完成したロックフィルダムです。

当日は約1時間ほどの滞在でしたが、研修団の一員からは、ロックフィルダムとコンクリートダムとの違いや、農業用水の取水方法、整備手法、農業用施設の維持管理費などの専門的な質問が次々と出され、大変活発な意見交換をすることができました。

西部農林事務所では、今後も都田川ダムの見学会や研修会の受入を予定しており、多くの人にダムや農業用水の役割を理解していただくため、PRに努めていきます。



西部農林事務所農村整備課 053-458-7224

西部

土地改良区総代会で農地中間管理機構関連
農地整備事業について説明

平成30年9月21日、浜北土地改良区臨時総代会において、約70名の理事、役員に対して「農地中間管理機構関連農地整備事業」の説明を行いました。

浜北地区では、混住化の進展に伴い、荒廃農地の増加や優良農地の転用が進んでおりますが、一方で、畑作に適した土質条件であることから、野菜農家を中心に耕作地を求める声が近年急速に増えています。

このため、担い手農家に地域農業を託すことで荒廃農地の減少を目指している土地改良区からの要請により、新たな土地改良事業制度の活用策について、農村整備課が説明を行いました。

説明を受けて浜北土地改良区理事長からは、「若い担い手農家に営農条件の良い農地を提供するため、この事業を今後大いに活用したい」との発言がありました。

西部農林事務所では、本事業の活用拡大を目指し、今後も事業説明会を積極的に展開していく予定です。

西部農林事務所農村整備課 053-458-7224

「コメづくりのための農業ICTカンファレンス
in静岡」の参加者を募集しています

県庁

農地計画課は、平成29年度から民間IT企業、研究機関、農業経営体とともに「水田水管理ICT活用コンソーシアム」を設立し、磐田市と袋井市の水田に自動給水栓100基、水田センサー300基を設置した大規模な実証研究を行っています。

この度、当コンソーシアムが開発している水管理システムを紹介するとともに、コメづくりに関連する農業ICTについて情報提供する場として、標記カンファレンスを開催します。

- 日時 平成30年10月24日（水）展示会12：30～18：30
セミナー13：30～17：00
- 会場 遠鉄百貨店新館8階 えんてつホール
（静岡県浜松市中区旭町12-1）
- 定員 200人（要事前申込、参加無料、どなたでも参加可能）
- 申込 「ICTカンファレンス参加申込」と記入の上、所属、氏名（ふりがな）、電話番号を農地計画課までFAXかメールでご連絡ください。

農地局農地計画課 054-221-2715

コメづくりのための
農業ICTカンファレンス
in 静岡

2018 10.24 水曜日

展示会 12:30～ セミナー 13:30～

えんてつホール 遠鉄百貨店新館8階
静岡県浜松市中区旭町12-1
JR浜松駅・遠鉄新浜松駅より徒歩1分

事前登録制